

経営者主体の獣害防除対策に向けて

綾部市鍛冶屋町における獣害継続調査として平成19年度の出没痕跡・被害に関するアンケートを実施しデータ化しました。丸印で示した地点での侵入が6月上旬と最も早く認知され、既に集落農地の中心にまで侵入していることが分かります。集落のまとまった農地を対象に獣害の軽減を図るには、個々の農地に被害が出てからではなく、当該地域で初期に発見された出沒痕跡や被害を把握し、迅速に集落で共有することが効果的です。また、灰色で示した不作付地は、耕作地と比べて目が届きにくいところですが、防除の観点からは定期的にチェックを行うことが必要です。農業総合研究所では、上記のような情報を有効に活用した集落防除対策を継続して提案し続けていくこととしています。

